

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成24年9月20日

施設名	高知青少年の家	所管課室	生涯学習課
-----	---------	------	-------

1. 施設の概要

指定管理者名	(財)高知県青年会館
指定期間	平成21年4月1日～24年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町天王北1-14
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成23年度主催事業> 親子陶芸教室 親子ハーブの寄せ植え教室(春と秋) 親子消しゴムはんこ教室 親子布ぞうり教室 親子石鹼デコパージュ教室 親子キャンドル教室 大人のための初心者パソコン教室 パソコンで遊ぼう</p>
施設内容	<p>研修及び会議を計画する各種機関・団体・学校・グループ・サークル・企業等に施設を提供している。 利用開始日:昭和63年6月1日 施設面積:1230.39㎡ 建築物:鉄筋コンクリート2階建 施設概要: 大集会室200名×1 研修室45名×3 会議室20名×1 和室20名×1 和室15名×1 視聴覚室50名×1 談話室(ホール)</p>
職員体制	職員:所長1名 事務長1名 指導員2名 事務員1名 合計:5名 ※所長・事務長は青少年体育館と兼務

2. 収支の状況

		H22年度(決算)	H23年度(決算)	H24年度(予算)
収入	県支出金	19,006,747	19,002,901	18,990,000
	事業費収入	79,400	77,600	55,000
	収入計 (a)	19,086,147	19,080,501	19,045,000
支出	事業費	454,791	477,801	457,000
	管理運営費	8,122,137	8,264,610	7,732,000
	人件費	9,611,742	9,440,932	9,960,000
	消費税	909,477	909,158	908,000
	支出計 (b)	19,098,147	19,092,501	19,057,000
使用料収入		565,550	553,140	565,000

3. 利用実績

(1) 利用団体数

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均
団体数	961	1,043	988	858	811	932

(2) 利用者数

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均
人数	20,300	19,859	19,195	16,335	16,073	18,352

4. 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元の小学校児童の放課後の居場所づくりとしての「パソコン教室」や、初めてパソコンにさわる一般の方対象の「初心者パソコン教室」を実施している。特に、「パソコン教室」は児童の放課後の居場所づくりとして人気があり、低学年の子どもたちの申し込みが多くあった。 ○子どもと親が体験的な学習をする中で親子のコミュニケーションづくりが行える親子体験教室を7教室開催した。特に、「親子陶芸教室」は好評で2日間実施した。昨年度に引き続き開催した「親子キャンドル教室」の他「親子石鹸デコパージュ教室」「親子布ぞうり教室」の2教室を新しい内容として実施した。いずれの催しも「参加してよかった」と喜んでいただけた。 ○利用団体の代表者に対して、暑中見舞いと年賀状を兼ね年間2回施設利用のお礼と今後の利用についてのPRを兼ねたはがきを送付した。受け取った方からお礼のあいさつがあるなど、利用促進のためのフォローアップに一定つながっている。 ○土佐市内4校、いの町内4校に学校訪問を行い、主催事業の案内チラシを持参して主催事業や施設の利用等に協力依頼を行うとともに、伊野南小中学校の運動会や卒業式など学校行事に出席し、学校との連携に努めた。天王地区町内会の敬老会や納涼祭に参加し連携に努めた。 ○高知新聞の「伝言板」を利用し、主催事業の親子教室と一般向けの「初心者パソコン教室」の募集を行い、PRに努めた。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主催事業の全参加者や施設利用団体の代表者に声かけしたりアンケートをお願いして、施設利用者のニーズ等の把握に努めている。 ○利用者が必要に応じて事前に施設を見学していただくとともに、施設の備品等の利用・貸出について打ち合わせを行い、できる範囲で要望にこたえる努力をしている。 ○車で利用者が多い場合には、混雑を解消するためにできる範囲で交通整理や案内を行った。 ○施設利用者への挨拶や丁寧な対応を心掛けて、日々の業務を行っている。 ○新たに「地震・津波マニュアル」を全職員に周知徹底を図り、避難訓練を行った。
③施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ローテーション職場であるため、引き継ぎ事項などに抜かりがないように、職員間で声をかけ合い、お互いの業務にこだわらず、助け合いながら連携して日々の業務にあたっている。 ○県主催の施設指導職員研修会に職員が2名参加し、資質・指導力の向上を図った。 ○業務へのやりがいと指導力向上を図るために、指導員が講師となって主催事業を行っている。 ○気持ちよく利用していただくために、毎日、トイレの清掃や使用後の研修室の机いすの掃除と整頓、照明灯切れの点検、取替えを行っている。 ○施設敷地内の雑草の草刈等を職員が行い、経費の節減に努めている。 ○季節ごとにプランターや敷地内に花を植え環境美化に努めている。
④利用実績	<p>○平成22年度と比較して企業等の研修利用が少なかったため、利用団体は47団体の減少(▲6%)、利用者は262人の減少(▲1.6%)となった。</p>

⑤収支の状況	<p>○平成22年度と比較して、使用料収入は12千円の減収となった。</p> <p>○管理代行料は、予算額をほぼ全額執行した。(県に4,099円返還)</p> <p>平成23年度決算額 19,002,901円</p>
総合評価	<p>○親子のふれあいをテーマとした体験学習を通じた主催事業を実施し、ターゲットを絞った活動が展開されている。</p> <p>○利用率アップのために利用団体代表者に対し、お礼とPRを兼ねたハガキを年2回送付しており、相手方から返事をいただくなど今後の利用促進につなげている。</p> <p>○日常業務や主催事業において、それぞれの職員が役割にとらわれることなく連携して取り組んでいる。</p> <p>○今後、更なる向上を目指して、以下の取組みを強化してもらいたい。</p> <p>①平成23年度の利用者は、平成14年度以来最少となっており、利用者減の原因分析を十分に行い、その対策を講じるとともに月ごとの利用団体及び利用者拡大の目標を立てて取り組むこと。</p> <p>②隣接する青少年体育館、伊野スポーツセンター(法人所有)との新たな連携事業を行うなど、施設の立地環境を活かした事業運営を行い、利用者の拡大に取り組むこと。</p> <p>③課題となっていた職員研修に平成23年度は2名参加したが、引き続き参加ができるようにするとともに、他の施設との交流の機会や研修制度を設け、職員の資質・指導力向上に努めること。</p> <p>④施設から表明があった地域に根ざした活動を進め、青少年の健全育成及び県民の社会教育活動への貢献などを通じて、青少年から高齢者までの幅広い年代の生涯学習に寄与するため、例えば地域の自然(仁淀川等)を利用することや、地域住民や関係機関とのより密接な連携について検討すること。</p> <p>⑤利用者の立場にたったホームページの更なるバージョンアップと青少年体育館等との連携など、施設の特色を活かした情報発信を行うこと。</p>

B

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの